

令和3年度(2021年度)

管理事業名	文化財保護事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 2	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化財の保存と活用
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 7	文化財保護費
部局名	地域教育部	予算執行所属		文化財保護課			
予算大事業名	文化財保護事業						
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)旧西尾家住宅大規模修繕基金積立金 (大事業)文化財保護事業						
事業の目的と概要 ・文化財保護事業 埋蔵文化財の発掘調査を実施し、出土した遺物等の整理作業を行い、報告書等の作成を行います。有形文化財等市内に所在する文化財についても調査を行い、その成果をまとめて報告書を作成します。また、文化財を保護し保存・活用等を図るため、教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、啓発を行うとともに、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出します。 ・旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業 重要文化財である当住宅を適切に保存し、その価値を生かした活用を図ります。 ・旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業 市の指定有形文化財である当住宅を適切に保存し、その価値を生かした活用を図ります。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
施設入館者数		1,927	567	595	施設入館者数及び主催事業の参加人数
旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)	人	49	137	96	
旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)		1,878	430	499	
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数	件	95	75	107	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数
指定・登録文化財総数		71	74	73	国、府及び市の指定・登録文化財総件数
成果の説明	・旧西尾家住宅、旧中西家住宅とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は約4か月、令和3年度は約2か月の臨時休館があり、さらに観覧者の密を避けるため受入定員も制限したため、両館とも入館者は減少したままとなっています。 ・開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数については埋蔵文化財の発掘調査や市内に所在する有形文化財等の調査の合計件数で、年間約100件前後対応し、文化財の保存に努めました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	1,000	8,386	73,210	64,824
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	5,028	5,551	5,809	258
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	130	39	46	7
経常収入 小計(a)	6,158	13,975	79,065	65,090
給与関係費	83,323	78,080	81,496	3,416
物件費	31,169	32,975	23,794	△9,181
維持補修費	4,993	1,147	112,941	111,794
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,221	1,519	994	△525
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,435	5,259	4,636	△623
退職手当引当金繰入額	△265	△2,355	2,848	5,203
支払利息	0	9	27	18
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	126,877	116,635	226,736	110,101
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△120,719	△102,659	△147,671	△45,012
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	23,333	23,333
特別収入 小計(d)	-	-	23,333	23,333
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	23,333	23,333
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△120,719	△102,659	△124,338	△21,679
一般財源充当額	128,003	113,375	121,700	8,325
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	7,283	10,716	△2,638	△13,353

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
維持補修費	旧西尾家住宅外塙(鉄筋コンクリート塙)保存修理工事請負費及び工事監理委託料95,476千円、旧西尾家住宅保存修理・耐震対策工事実施設計15,631千円(+111,107千円)
国庫支出金	重要文化財建造物修理事業費補助金72,210千円(+64,824千円)
特別収入・その他	寄附による旧西尾家住宅の管理地(土地)の増加(+23,333千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	6,158	13,975	79,065	65,090
行政サービス活動支出	132,657	123,838	228,423	104,584
行政サービス活動収支差額	△126,500	△109,863	△149,357	△39,495
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	5,003	5,534	5,644	110
投資活動収支差額	△5,003	△5,534	△5,644	△110
財務活動収入	3,500	3,500	34,900	31,400
財務活動支出	-	1,478	1,599	121
財務活動収支差額	3,500	2,022	33,301	31,279
収支差額 合計	△128,003	△113,375	△121,700	△8,325
一般財源充当額	128,003	113,375	121,700	8,325
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容
行政サービス活動収入 重要文化財建造物修理事業費補助金72,210千円(+64,824千円)、財務活動収入 文化財保存事業債34,900千円(+31,400千円)

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人当たりのコスト	令和元年度	1,927人	65,842円	令和3年度は、令和2年度に引き継ぎ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、旧西尾家住宅、旧中西家住宅とも臨時休館や受入定員の制限を行い、来館者が減少したままとなっていること、及び維持補修費等の増加により、単位あたりコストが令和元年度と比較すると高い水準となっています。
	令和2年度	567人	205,705円	
	令和3年度	595人	381,069円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,857	6,429	△428
未収金	-	-	-	地方債	1,599	1,793	194
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,259	4,636	△623
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	913,320	936,653	23,333	固定負債	64,683	96,726	32,043
土地	913,320	936,653	23,333	地方債	17,224	50,331	33,107
建物・工作物	0	0	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	47,459	46,395	△1,064
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	151	151	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	71,540	103,155	31,615
有形固定資産	-	-	-	純資産	852,468	849,830	△2,638
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	10,537	16,181	5,644
重要物品	-	-	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	10,537	16,181	5,644	基金	10,537	16,181	5,644
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	10,537	16,181	5,644	資産の部合計	924,008	952,985	28,977
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	924,008	952,985	28,977				

Ⅲ 財務構造分析

▼人にかかるコストの内訳

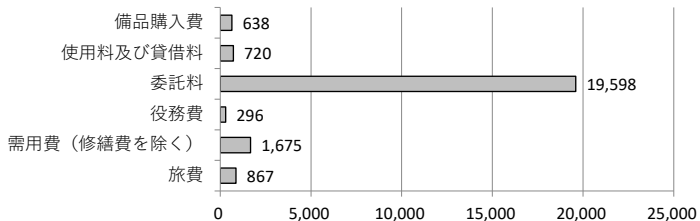
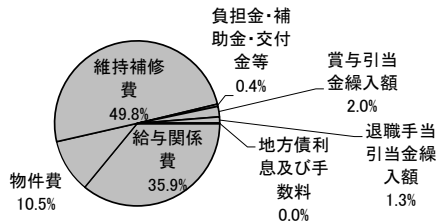
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	8人	1,783日	0日	
給与関係費等	65,665千円	23,315千円	0千円	88,980
内、時間外勤務手当	1,299千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
固定資産 有形固定資産 土地	寄附による旧西尾家住宅の管理地(土地)の増(+23,333千円)
固定資産 投資その他の資産 基金	旧西尾家住宅大規模修繕基金への積立の増(+5,644千円)
固定負債 地方債	文化財保存事業債の増(+34,900千円)

▼経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▼分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		93.0	86.6	51.6	△ 35.0

▼その他特記事項

Ⅳ 総括

▼分析結果の説明

旧西尾家住宅及び旧中西家住宅について、新型コロナウイルスの影響により一定期間休館しましたが、それ以外の期間は人数等の制限を行いながら観覧を行いました。また、埋蔵文化財等調査は、開発側の日程等を尊重しながら業務を遂行しました。令和3年度は、重要文化財である旧西尾家住宅の保存修理工事の実施により、維持補修費が前年度と比較して大幅に増加しました。したがって、経常費用の構成においては、維持補修費が約半分を占めており、次いで多いのが給与関係費です。経常収入においては、旧西尾家住宅の保存修理工事は国庫補助事業として実施していることから、維持補修費の増加に伴い、国庫支出金も増加しています。また、旧西尾家住宅の近接地の土地の寄付を受けたため、貸借対照表の事業用資産が増加しました。

▼分析結果を踏まえた事業の課題

・旧西尾家住宅は、建物等は国指定重要文化財、庭園は国登録記念物(名勝)であり、所有者は国で管理団体として吹田市が管理を行っています。建物は江戸時代後期から大正年間にかけて建築されたものです。耐震診断を実施した結果、大地震が発生したときには倒壊の危険性があると判明したため、旧西尾家住宅大規模修繕基金を設立し財源確保に努めながら、令和2年度から国庫補助事業として約10年をかけた大規模修繕工事を進めています。また令和2年度から令和3年度にかけて外堀(鉄筋コンクリート堀)の保存修理工事を実施しました。令和4年度からは建物本体の保存修理工事に着手します。また、工事中及び工事終了後の活用等について検討します。

・旧中西家住宅は、建物等は市指定有形文化財及び国登録有形文化財であり、庭園は国登録記念物(名勝)となっています。建物等は江戸時代後期から明治時代に建築されたものです。建物屋根・柱に損壊部分も確認されており、耐震診断、建物破損調査を以前に実施しています。今後は、それらの結果も踏まえ、当住宅に対する保存活用計画を策定していく予定です。

・近年、大規模な開発も多く、埋蔵文化財の調査を行い、適切に対処するため体制整備や文化財を保護する意義を啓発する必要性が高まっています。